

つくば市中心部におけるカフェショップの分布特徴及び魅力評価

紀 鑫淼 (地球科学専攻)

1. 研究目的

カフェショップは休憩の場として重要な役割を果たす。本研究はカフェショップの営業時間、総席数、飲み物と食べ物のメニュー及びWI-FI設置の有無などに着目して、カフェショップの空間的特徴を明らかにするとともに、魅力評価を行う。

2. 研究地域

つくば駅から半径1.2KM以内の範囲を研究対象地域とする。

3. 研究方法

まず、GPSを用いてつくば市中心部におけるカフェショップの位置をウェイポイントで記録した。同時に営業時間と総席数をノートに記録した。そして、飲み物メニュー、食べ物メニュー及びWI-FI有無などの情報について聞き取り調査を行った。次に、取得したデータをArc Mapに取り込み、カフェショップの分布図を作成する。魅力評価は営業時間、総席数、飲み物メニュー、食べ物メニューとWI-FI設置の有無を評価項目として魅力値を計算し、ArcGISにより地図化にして、空間分析を行う。

4. 結果・考察

図1と図2に示すように、営業中のカフェショップは24店舗である。その中で、15店舗は西武、Q&tをはじめショッピングセンター内と周辺に立地する傾向がみられた。対象地域内の北方向では、店舗は非常に少ない。そして、ショッピングセンター周辺に立地するカフェショップはほかの店舗に比べて、営業時間が長く、総席数が少ないとみられる。WI-FIが設置された店舗は比較的多く、WI-FIが利用できない店舗の多くはショッピングセンター内に立地する特徴がみられた。店舗の魅力値の分布図から見ると、研究対象である24個の店舗のうち、総魅力値3点を超えたのは二つであり、1点に達しなかったのは四つある(図3)。

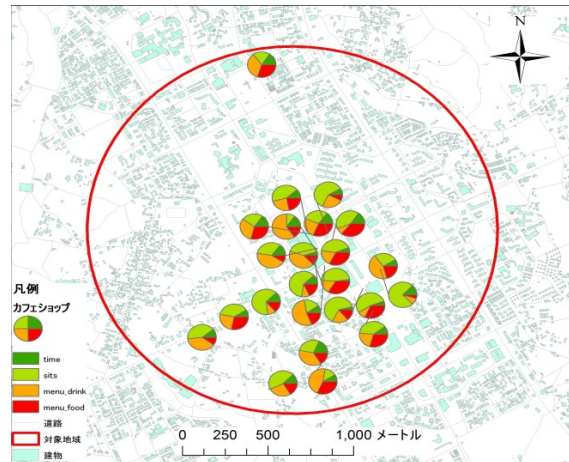


図1 カフェショップの営業時間、総席数とメニューの特徴

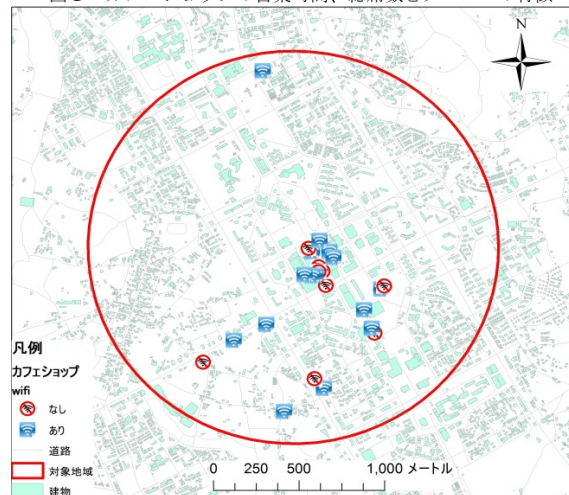


図2 カフェショップのWI-FIの設置の特徴

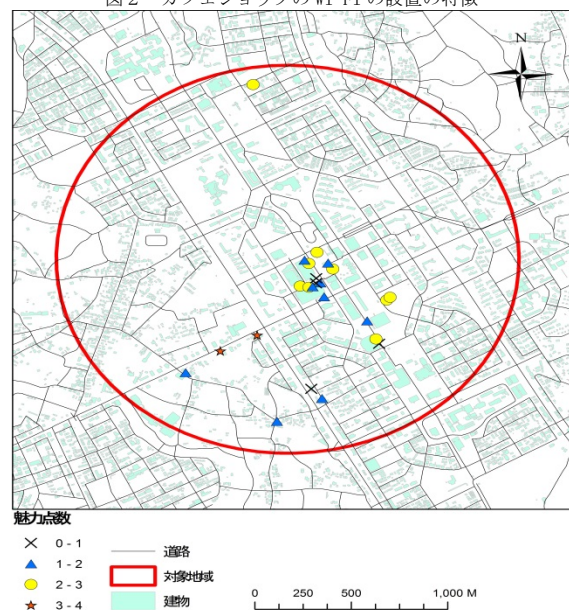


図3 カフェショップの魅力評価